

文々の新聞

第54号

2013年(平成25年)

4月14日 曜日

担当 射命丸文

ゴミの桜並木!天狗と兎が清掃活動に参加



▲清掃活動中、何一つぼやくこと無く黙々とゴミを片付ける優曇華院さん。
写真=射命丸文

花見の後にはゴミを見る

この新聞を読んで下さっている皆様へ、こんにちは。私は清く正しい新聞記者、射命丸文と申します。

四月という桜咲く日差し穏やかな時期かと思われませんが、今年は妙に暑い気がします。桜が咲くのも早ければ散るのも矢のような速度でした。春の妖精さんの活動期間が短くならないか気にかけてしまうところ。

皆さんは春着を出すタイミングはいつ決めていますか? 気温でちゃんと判断できたらいいのですが、朝が寒いと思つたら日中暑かつたり、朝暖かいと思えば、そのまま日中暑上からなかつたりと、春特有といえます。つかつか多めに服をチョイスして、日中暑すぎ一枚脱いで手荷物になってしまふこと、多くて困りませんか? 何かいい手段がないか知りたいたいものです。今回の取材で、この新聞では二度目となる春の幻想郷の様子をお伝えしたかったのですが、実は幻想郷でも桜が完全に散ってしまった。この桜の木たちも早ければ月末には緑の葉を見せるのでしょうか。今回の取材も本来なら人里の花見の様子をお送りしたかったのですが、何処に行っても花見客の姿はありませんでした。

じゃ取材することは何も無いのか? いいえ、こんな時期だからこそお伝えしたい取材をしてきましたので、今回はそちらをご紹介します。

旅は道連れ?

実は今回、優曇華院さんと人里でばったり遭遇いたしました。一緒に買い物を楽しみつつ何か良いネタを探し出すつもりで、優曇華院さんと行動を共にしておりました。何でも葉の原料になる根菜や葉を探しているのだとか。色々探しているものはあるようですが、人里の市場に葉の原料になるようなものが売ってたりするのでしょいか? 尋ねてみると「見つかったり見つからなかったり」とのこと。

しばらく二人で話をしながら人里の町並みを歩いてみると、桜並木の通りに出ました。といっても桜はほとんど散ってしまつており桜並木の地面がその散つた花びらで桃色に染まっています。綺麗だとは思いましたが、そうして地面に目を向けると、私達が言葉もなくすよなものが目に入りました。桜並木の地面には、桃色の花びらとともに大量のゴミが散らかっているではありませんか。おそらく花見で沢山の人が利用された影

桜とトンダと私

ボランティアの人に参加の表明をすると、渡されたのは軍手とトンダとゴミ袋。特に決まりはなく、他の参加されてる方と同じようにゴミを集めて、ゴミ袋を一箇所に纏めるのだとか。

ある程度ゴミを集めてから気付いたんですが、清掃しているところじゃなく、取材どころじゃないという事はそれだけゴミが多いとも言えるのですけれどね。

一本の桜の木の周りのゴミを集めた袋はすぐ一杯になるため、なかなか清掃自体にも終わりが見えません。ちよつとほやきたくなるような気持ちでしたが、ふと優曇華院さんを見ると文句一つこぼさずに、ゴミを黙々と集めています。優曇華院さんに声をかけて振り向いてもらったところを一枚の写真に収められたので、私もそこから先は取材を忘れて彼女に負けないうつひたすらにゴミを集めました。

付け耳の天使

日が傾きかけたところで清掃活動も終わり、ベンチにやつとのことで座った私も優曇華院さんも衣服は土で汚れ、汗でベタベタになっていました。お礼として配られたおにぎりとお茶が信じられないくらい美味しくて二人で夢中になって頬張りましたね。

ボランティアの人達に、「可愛い付け耳だね」と言われて、照れながら話を合せる優曇華院さんが妙にキュートでした。

私達もことある事に宴会行事には参加してはいますが片付けだけはしっかりやっています。片付けることが当たり前である世の中であつてほしいものですが、こういう問題は後を絶たないような気がしますね。ちなみに、ゴミを散らかす人に流される人も同じように散らかす傾向があるのだとか。今回の花見も「他の人が散らかしてるから、いいか」と流された人によってゴミも一層増えたのかもしれない。

皆さんは宴会行事の後の片付けはちゃんとされてますか? 散らかす人は言語道断ですが、周りに流されて散らかすのもダメですよ。「悪い所は真似しない」と強い意志を持ってくださることを切に願っています。

今回取材に協力して下さった優曇華院さんには、薬草と、何か美味しい食べ物贈らせてもらいましょう。以上、射命丸文でした。

夜間授業始めました。
幻想郷の頭脳 上白沢慧音を講師として皆様に歴史をお教えします。
日中忙しいあなたも都合に合わせて受講可能です。
上白沢慧音
麓の寺子屋

出張ライブ承ります。
日中・日没・小夜・暁
あなたのご要望に答えて、三姉妹が駆けつけます。
トリオ・フリブスリリリー

素敵なセカンドライフを送る為に…
『凶解』でも解る
戸解仙人が伝える
秘術と実践』

これで共通一次も怖くない!
上白沢慧音と稗田阿求の両名が共同出版。
「温故知新」

何故、誰も参拝しないのか? そこにはなんと、「常識に囚われてはいけぬ!」落とした穴があった。参拝実績過去数年でゼロ! 博麗神社の現状について、現役の巫女として活躍中の東風谷早苗が徹底分析! 東風谷早苗著
神社に神が宿るとき

見えていないと、お思いですか? その心
地霊殿
スピリチュアルカウンセリング

水晶玉に見る第三の目にて個別で占います。
巷で大騒ぎ! 「客の名前や性格を当ててくる」と大評判!
占い料 一回4000円
場所…スタジオ地霊殿 1F エントランスホールにて

※ヘルメットをご持参ください。

第13回 文のリレートーク!

文「皆さん、こんにちは！射命丸文のー？」
 妖「リレートーク！」
 文「元気なタイトルコールありがとうございます。今週は魂魄妖夢さんとお送りします」
 妖「宜しくお願いします」
 文「では妖夢さん、まずはこちらの箱から好きなお札を一枚引いてください」
 妖「引くんですか？」
 文「引くんです！腰の刀をチラチラと見せないでください！」
 妖「引きました。お札には『私の特技』とあります」
 文「ずばり、妖夢さんの特技とは何でしょうか？」
 妖「剣技ですね。毎日磨いていますから」
 文「…物騒な特技がきましたね。何でも斬れるんですか？」
 妖「はい。斬れぬものは、あんまりないです」
 文「じゃ私を斬ってくださいませんか？」
 妖「はい」
 文「わー！待って待って！本当に斬らないで！」
 妖「えっ」
 文「えっじゃないですよ！そこは『人は斬れません』って言って、私が『なんだ、斬れないものあるじゃないですかー』って突っ込むところですよ？」
 妖「あわわ、どうしよう。」

妖「えっじゃないですよ！そこは『人は斬れません』って言って、私が『なんだ、斬れないものあるじゃないですかー』って突っ込むところですよ？」
 妖「あわわ、どうしよう。」
 文「えっじゃないですよ！そこは『人は斬れません』って言って、私が『なんだ、斬れないものあるじゃないですかー』って突っ込むところですよ？」
 妖「あわわ、どうしよう。」

お花見準備!

射命丸 (鳥鍋周りはやらぬ)
 妖「お花見準備！お花見準備！お花見準備！」
 文「お花見準備！お花見準備！お花見準備！」
 妖「お花見準備！お花見準備！お花見準備！」

幻想郷でのお仕事!

紅魔館で門番をやってみたいです！美鈴さん一人だと大変そうだし、もし寝たら咲夜さんにバレる前に起こしてあげれば万事OK！
 @***さん 美鈴さんも、話し相手がいると楽しくなるかもしれないねえ。ただ、二人して仕事をサボった日には妹様のご相手をする羽目に…
 @***さん もちろん、文々。新聞ですw (ついでに、椀の耳ももふもふできますしw)
 @***さん あやや、実際我々は新聞制作を手伝ってくださる方を募集していますよ。ですが、椀の耳はそう簡単には触らせませんよ。
 @***さん 農家になって収穫祭の時に静葉様や穰子様を拝みたいです。ありがたや！
 @***さん 人里の作物がよく穫るのは、秋神様のありがたいお力らしいですね。ありがたや！
 @***さん 白玉楼の庭師。一面の満開の桜を毎年見ながら、幽々子様とまつたりのんびり過ごしたい
 @***さん 春を集めてくるのが大変そうですね。あと、お世話をするのも…

今日の天気

【博麗神社】 やや強い南風、曇り。なかなか気温の上がらない一日。
 【白玉楼】 南風、快晴。桜の季節も過ぎてしまいましたね。
 【紅魔館】 無風、紅い霧が長く続くでしょう。
 【人間の里】 やや強い南風、曇り。天気に恵まれない一日。
 【妖怪の山】 南東の風、晴のち曇り。肌寒い一日。
 【魔法の森】 やや強い南西の風、曇り。雨にはならないものの、寒い一日になるでしょう。
 GWには幻想郷へ遊びに行きますね！
 @sasugasansiroさん あやや、嬉しいですねえ。楽しさと危険で一杯なところかもしれません。是非遊びに来て欲しいです。幻想入りしたいです(切実)
 @niksu_myonさん お互いの世界には素晴らしい場所が多いと思います。行けない世界への憧れは私も強かったですよ。
 次の春の時は是非とも花見の様子を取材したいですね。来年も桜たちが元気に咲き誇れるよう、綺麗な桜並木であってほしいので、またこういう活動があれば参加しようと思えました。
 アンケートに関してはこちらからご利用いただけます。

黒谷裁縫 アンダーグラウンドスクール

美人な講師が真心込めてお教えします。
 真心を一糸ずつ込めて…
 裁縫教室開校しました！
 黒谷織物は入校者を募集しています！

正しい本の借り方

成功の秘訣はここにあった！
 犯行を図書館の主目録に気付けさせない『段取り』、逃げ場を確保しながら必要な量を持ち出すための『下見』。
 霧雨魔理沙著
 あなたも一生、借りてみませんか？
 文庫判 246頁 定価630円税込
 香霖堂出版

知、てはいけない



編集後記

優曇華院さんは、元々買物の用事で人里まで降りていたので、中々帰ってこない彼女を永遠亭の皆さんが心配していたのだとか。さらには泥まみれ汗まみれで帰宅したもので、何をされたのかと、皆さん一時はパニックになったそうです。心配してもらえないなんて、それだけでも羨ましい話です。私なんて汚れた姿をはたてに見られて言われた一言は『早く風呂に入りなさいよ』ですから。



http://b-news.info/eq.htm

お詫びとお知らせ
 TwitterのAPI仕様変更の影響により、TwitterのIDが取得できない問題が起きています。
 アンケートにご回答いただいた方々には申し訳ございませんが、アカウント名を取得できなかったアンケートに関しては、「@***さん」と表記させていただきます。
 本当にごめんなさい!!

